

<瀬戸内アジアフォーラム 全体概要>

アジア諸国からの参加者約 40 名を対象に、下記プログラムにて開催します。

○10月17日（月）

視察ツアー（女木島、男木島、豊島）及び
セッション①（会場：JR ホテルクレメント）

1. 「北川フラムのアートプロジェクト」
北川フラム（瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター）
2. 「地理学・博物学的世界としての美術—北川フラムの美術観」
ジャン=ミッシェル・アルベローラ（アーティスト／フランス）

○10月18日（火）

オープニングセッション（本文ご案内のとおり）

○10月19日（水）

視察ツアー（小豆島）及び
セッション②（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「美術史の書き換えが始まった」
パトリック・フロレス（美術史/フィリピン大学教授、ヴァルガス美術館館長）
2. 「テートモダンなぜアジア・アートをコレクションするのか」
イ・スキョン（テートアジア太平洋リサーチセンター、チーフキュレーター/韓国）
3. 「グローバル化の時代にアジアの建築家はどうか」
馬岩松（建築家/中国）

○10月20日（木）

セッション③（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「瀬戸内と越後妻有における地域づくり」北川フラム
2. 「越後妻有における農業女子サッカーチームの試み」
坂口淳（日本サッカー協会スポーツマネージャーズカレッジディレクター）
3. 瀬戸内の現場からの報告「瀬戸内・男木小中学校の再開」
福井大和（男木地区連合自治会会長） 他
4. 地域づくりとアートに関わる参加団体からのプレゼンテーション

セッション④（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「日本全県の物産をデザインするなかで見えてきたこと」
ナガオカケンメイ（デザイン活動家/日本）
2. 「地域発デザインのカ〜鯖江のメガネフレームを世界へ」
小松原一身（ボストンクラブ代表/日本）
3. 「アート×農業×観光〜ジム・トンプソン・ファームの取り組み」
パホンチャイ・プレんジャイ（ジム・トンプソン・ファーム建築家&アドバイザー）
4. 地場産業の振興等に取り組む参加団体からのプレゼンテーション

分科会

○10月21日（金）

クロージングセッション（会場：福武ハウス（小豆島福田）ほか）

1. 分科会報告
2. 総括